

育友会就職懇談会

200人参加

計画的な取り組みを



就職活動の動向や専修大学の就職支援体制を紹介する育友会(本多英夫会長)の就職懇談会には、1年次生から4年次生ま

でのご父母・保護者ら約200人が参加。就活事情に詳しい経済ジャーナリストや本学就職課の職員、現役就活生が語る最新の情報に、参加者は熱心にメモを取っていた。

「就職H Rオンライン」リストや本学就職課の職員、現役就活生が語る最新の情報に、参加者は熱心にメモを取っていた。

た。データを示し「景気が回復しても意中の企業への就職は決して簡単ではない」としたうえで、ブラック企業にも言及。「企業でのインターンシップ(就業体験)はビジネススマナージが身につく、面接にも役立つ。長い夏休みにはぜひ挑戦するように努めてみては」とアドバイスした。

高橋力就職部長は、今春の卒業生の進路状況や、3年次の4月からスタートする就職課の支援イベントを紹介。「余裕を持って準備を進めれば主体的に就活できる。計画的に取り組むように促していたら」と呼び掛けた。

関心が高い公務員試験については、エクステンションセンターの渡辺典子職員が各種公務員試験の概要や選考基準、本学の支援講座を説明した。



▲ 左から、谷津さん、小田さん、村松さん、田口さん。就活の体験を語った

両親は共働きで、母の約120社に応募。銀行などの金融業界が志望ですが、興味のある企業の試験の問題集を開き、遊び感覚で勉強したのは楽しい思い出です。

企業説明会では積極的に発言し、課題や問題点を質問。自己PRは原稿にして何度も練習しました。面接は会話を通じて僕という人間を知ってもらおう。自分の将来像を具体的に語れることが重要だと思えます。

企業説明会では積極的に発言し、課題や問題点を質問。自己PRは原稿にして何度も練習しました。面接は会話を通じて僕という人間を知ってもらおう。自分の将来像を具体的に語れることが重要だと思えます。

営業職だと決めていたものの、思いつくのは金融や広告業界ぐらい。大学の業界研究講座を受講するなかで産業機械の企業に引かれました。「目に見えないが世の中を広く支えている」と日本企業のシェアは世

界の4割」というメーカーの方の説明に、世界につながるフィールドだと感じる。工場見学に出かけ、技術力に納得できた13社に絞りました。結果が出なくても自分を信じ続けなければならぬのが、就活のつらいところ。

就職特集

4・5面

「昨今の就職動向と親としての心構え」



田宮寛之氏 講演要旨

「どこの会社でもいいから内定を取って」「そんな会社は知らない」

「どりあえず資格を取りなさい」は禁句。年間の大卒者数は親世代の時より20万人も多く、親の知らない有名企業は多い。現状を把握していない助言は子どもを追い詰める。簡単に内定を出すブラック企業に追いやられかねない。ブラック企業は、労働関係の法令を守らず社員を使い捨てにする会社。入社3年後の離職率

仕事のやりがい語って

「どこの会社でもいいから内定を取って」「そんな会社は知らない」

「どんな企業が向いていますか」「エントリーシートってどう書けばいいんですか」

生田、神田の両キャンパスの就職課には毎日多くの学生が訪れ、就職に関する悩みや疑問をスタッフにぶつけている。就職相談は予約不要。相談者の納得がいき、内定を獲得するまで、とことん付き合う。

2014年度の就職相談件数は1万1537件。前年度より1960件減ったが、これは就職件減ったが、これは就職

「どんな企業が向いていますか」「エントリーシートってどう書けばいいんですか」

生田、神田の両キャンパスの就職課には毎日多くの学生が訪れ、就職に関する悩みや疑問をスタッフにぶつけている。就職相談は予約不要。相談者の納得がいき、内定を獲得するまで、とことん付き合う。

2014年度の就職相談件数は1万1537件。前年度より1960件減ったが、これは就職

4年次生就活奮闘中

後半の「就職活動体験談」では、小林仁就職課長の司会で

「私は誰かを快適にした安心させる仕事をした」と気づきました。

3年次の夏休みに大手生命保険会社のインターンシップ(5日間)に参加しました。企業の方と面談ができ、業界や企業が自分に向いているのか確かめられるうえ、面接の練習にもなります。

就職サイトを通じて関心のある企業に意思表示できるプレエントリーは

スケジュールが後ろ倒しになった影響とみられる。就職課は「社会人としてスタートラインに立つためのお手伝いをしていく。構えないで、就職課を社会の入り口のちょっとした手前と思って気軽に足を運んでほしい」と話す。

就職課にある資料室には就職関連書籍、ビジネス誌や各種新聞などが多数あり、閲覧・貸し出しができる。また個別相談では職員やキャリアアドバイザーが幅広く相談に対応している。最近社会問題化している、就職活動終了を学生に強要するよう企業側のハラスメント(オワハラ)なども「強要されるようなことがあれば一人で悩んでいないで相談して」と呼び掛ける。

14年度の就職相談利用者アンケートによると、「就職相談を利用して大変良かった」「良かった」は計99・1%で、学生かと訴える。

自己PRを練習

3年次の夏休みに大手生命保険会社のインターンシップ(5日間)に参加しました。企業の方と面談ができ、業界や企業が自分に向いているのか確かめられるうえ、面接の練習にもなります。

就職サイトを通じて関心のある企業に意思表示できるプレエントリーは

スケジュールが後ろ倒しになった影響とみられる。就職課は「社会人としてスタートラインに立つためのお手伝いをしていく。構えないで、就職課を社会の入り口のちょっとした手前と思って気軽に足を運んでほしい」と話す。

14年度の就職相談利用者アンケートによると、「就職相談を利用して大変良かった」「良かった」は計99・1%で、学生かと訴える。

助言で方向転換

英語英米文学科) 3年次の12月までサー

企業選定の基準は、総合職として楽しく働いて自分の将来像をどうするか。出産・育児休業の取得率や職場復帰率などを質問すると、会社に

営業職だと決めていたものの、思いつくのは金融や広告業界ぐらい。大学の業界研究講座を受講するなかで産業機械の企業に引かれました。「目に見えないが世の中を広く支えている」と日本企業のシェアは世

最終面接で不合格が続いた時期も、必死で反省点を書き出しました。幸い選考が最後だった第一志望の電子部品メーカーから内定を得ましたが、自分を見つめ直したことで成長できたと思えます。

クルが忙しく、就活がスタートした3月には準備不足を痛感しました。好きな旅行・フライダ

を、就職課の方のアドバイスを、最先端の技術に携わる仕事したいと考えている自分を想像できるかどうか。出産・育児休業

「目に見えないが世の中を広く支えている」と日本企業のシェアは世

最終面接で不合格が続いた時期も、必死で反省点を書き出しました。幸い選考が最後だった第一志望の電子部品メーカーから内定を得ましたが、自分を見つめ直したことで成長できたと思えます。